



華麗なる図書館利用者のための

Cool Librar

# クールリブラ

講座

## カジのうら若き青春黙示録

文/カジ

教科書は毎日学校から持ち帰ろう。

前号でも書いたとおり、カジは家で勉強することが大の苦手。高校に入ってもそれが変わることはなく「赤点を取らなければOK」という低いモチベーションで日々を過ごしてたのな。教科書もほとんど学校に置きっぱなし。ある時、翌日のテストの教科書を持ち帰るのを忘れて夜中に焦ったこと

### 教科書1ページがほとんど赤色に…

これはもはや教科書全文暗記である。さらに赤マーカーで読みにくいことの上なし。いやはや勉強って難しい。結局初心に帰り、普通に教科書を読むことに。やっぱり素人にはこれだね。

そんなこんなやってる間に、いよいよテストに突入。そして、大した手こたえもなく、実にあっさり終了。隣の干絵ちゃんはやり終えた感を漂わせている。最初から勝ち目のない勝負ということは十分承知の上だが、こうも負け濃厚ムードになるとは…さあ結果はいかに。

【前回までのあらすじ】  
実にグルーヴィな展開で、学園のマトンナ干絵ちゃんも定期テスト勝負をすることとなったカジ少年(中二)。「教科書を常に視界に入れながら生活する」という斬新な勉強法を思いつくも大失敗。テストまでもう時間はない、次なる勉強法は…

### チエックシートをかぶせたら♪

あっ、消えた！

某シマウマ系チエックペンのCMフレーズである。教科書の重要な部分を赤色のペンでマーカーし、緑色の透明シートをかぶせるとマーカー部分が黒くなって「あっ、消えた！」となる例のアレだ。今どきのティーンズが使っているかは知らないが、当時はこのチエックペンが全盛期。勉強方法を画策していたカジは、いよいよこのチエックペンの力を借りることを決意する。なんだかちよっぴり大人になった気分。

近所の文具屋でチエックペンをゲット。教科書の太字の部分をマーカーし、シートをかぶせて暗記してみる。なかなかいい感じ。だが、何回か見ているうちにマーカーされた位置で単語を覚えてしまうという問題が発生。ならばということで、マーカー部分を増やして暗記、マーカー部分を増やして暗記と繰り返しているうち、

道に迷ったら王道を行く、これぞ王道！

